

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 49 | ○日常的な外出支援 ・庭やホーム周辺の散歩は比較的行えているが特別感のある外出機会は少ない。 ・季節や環境、感染対策などに配慮しながら屋外の行事や自然に触れ合える外出機会を増やしたい | ・屋外の行事への参加の機会を作り、少しずつ地域との付き合いを再開する。 ・行事や外出に合わせ、家族へもお誘いをし家族参加型の外出機会、触れ合いの機会を増やす。 | ・地域の行事や催し物、家族にも参加してもらえそうな外出先などの情報をスタッフ全員で収集する。 ・外出(参加)に向けてシフト調整などに努める。 ・外出(参加)する際は十分な感染対策を講じる。 ・家族に参加してもらえた時は、本人と家族が楽しく過ごせるよう、サポートに徹する。 | 12ヶ月 |
| 2 | 7 | ○虐待の防止の徹底 ・不適切ケアのアンケートを取れば意見が出てくるが、その場で声が上がらない現状がある。 ・馴れ合い、遠慮、無自覚といった現状がある。 | ・不適切ケアに気付く感覚を身に付ける。 ・お互いに見守り合い、声を掛け合えるようになる。 ・対応に困っていること、悩んでいることを皆で共有し、解決策を検討する。 | ・日頃から、スタッフ同士コミュニケーションを大切にし、何でも話しやすい関係作りに努める。 ・言動や、関わり方に対して、客観的な視点で見る習慣を持つ。毎月のミーティング時に振り、気付きの場を設ける。欠席者は、事前に意見を提出してもらう。 | 12ヶ月 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。